

令和3年度 第1回米沢市上下水道事業経営懇談会 報告

第1回上下水道事業経営懇談会を開催したので、報告します。

1 日時 令和3年4月28日（水）10:00～

2 場所 市役所 庁議室

3 出席委員

安部吉弘委員、遠藤昌敏委員、岡田堅委員、加納正仁委員、鈴木愛子委員、中村和則委員、長澤譲委員、成澤紀子委員、布施賢治委員、宮川英子委員、渡部一雄委員 以上11名（欠席：黄木義久委員、小池利行委員）

事務局

市長、上下水道部長、業務課長、水道課長、下水道課長、業務課長補佐、水道課長補佐、下水道課長補佐、総務主査、財務主査、企画主査、給排水主査、工事主査、施設管理主査、企画担当主査

4 会議録

（1）開会（進行：業務課長補佐）

（2）委嘱状交付

（3）市長あいさつ

皆さんおはようございます。ただ今、委嘱状を交付させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

水道は、日常生活にとって欠かすことの出来ないものです。水が出るのは当たり前ですし、また下水として利用するのも当たり前になってきています。こうしたことで市民生活の向上なり、公衆衛生上、また安全安心して生活できる環境づくりに、さらにこの事業を充実させていかなければと思っております。

ただ、この両事業とも公営企業であります。常に経営というものを意識しながら取り組んでいかなければならないという使命も持っています。しっかり対応しながら、そして市民の皆様方の安全安心のために、今後とも諸課題について事業を推進してまいります。例えば、上水道につきましては、舘山浄水場の廃止をいたします。その代わりに水窪、綱木両ダムからの取水となり、県水のみに対応としますが、万が一の場合も考えた対応をしていかなければなりません。自前の取水場所についてもしっかりと取り組みながら、市民の皆さんが万が一の場合においても対応できるような取り組みをしていかなければなりません。

また、下水道においてもなかなか供用開始がされているわけではありませんが、

皆さまにその供用をしていただくということも難しい状況もあります。

公営企業として、どのようにしてしっかりと経営をしていくか、その経営をしていくことは、取りも直さず将来的に市民生活の向上に繋がっていくものと私は思っておりますので、今後とも委員の皆さま方のご意見、ご指導等もいただきながらしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

こういった大変なコロナ禍の中で、またお忙しいなか、委員としてのお仕事をお願いしたわけですので、何卒宜しくお願い申し上げます。一言お礼を兼ねましてご挨拶とさせていただきます。どうぞこの期間よろしくお願い申し上げます。

(4) 委員、事務局職員紹介

(各委員自己紹介) 市長公務のため退席
(事務局自己紹介)

(5) 委員長及び副委員長の選出

事務局案として、委員長には山形大学大学院教授の遠藤昌敏委員に、副委員長には欠席の東北税理士会米沢支部の黄木義久委員を提案し、出席委員全員の了承を得た。

(6) 委員長あいさつ

委員長に選出された山形大学の遠藤と申します。

今年は雨がたくさん降っていると思いますけど、先ほど市長の方から色々お話がありましたが、無事この懇談会がまとまった意見を提案できるように努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(7) 議事（議長：遠藤委員長）

ア 会議の公開・非公開、会議録について

事務局より本市が開催する会議等については、米沢市情報公開条例第24条の規定により原則公開としていることから、この懇談会も公開とする。会議録は、要点筆記とし発言者名は伏せる。会議録も米沢市情報公開条例第7条に規定されている不開示情報には該当しないので公開する旨を説明し、委員からは異議は無く、了承された。

イ 水道事業概要説明

i 経営懇談会の趣旨について

- ・上下水道部長より経営懇談会の沿革、運営審議会等について説明。

今回は、新水道事業ビジョン（後期計画）、水道事業第5期中期経営計画の策定に加え、運営審議会においても兼務していただき、経営懇談会のなかで下水道使用料の改定が必要となれば、その改定についても審議頂きたい旨を説明した。

ii 水道事業について

- 水道課長より「資料3 水道事業概要」に基づき、水道事業の沿革、現状、給水区域、事業について説明した。また「新水道事業ビジョン」について、今年度に見直しとなるので委員の皆さまへの協力を依頼した。さらに、同ビジョンの概要並びに今後の主な事業（管路の耐震化、舘山浄水場廃止等）について説明した。
- 業務課長より「資料1 新水道事業ビジョン」「資料3 水道事業概要」に基づき水道事業の経営、水道料金の推移等について説明した。また、「資料5」に基づき、水道事業の令和元年度決算状況及び県内13市の水道料金比較について説明した。

【質疑・意見等】

特になし

iii 下水道事業について

- 下水道課長より「資料6」に基づき、下水道事業の沿革、整備状況、下水道の役割及び仕組み等を説明した。また、今年度予定している下水道整備地区、浄水管理センター改築工事、農集排施設の改築工事等について説明した。
- 業務課長より「資料5」に基づき、下水道事業の令和元年度決算状況について説明し、下水道使用料改定の際は改めて詳しく説明したい旨を話した。また、「資料4 米沢市の下水道」に基づき、補助制度について説明した。さらに、「資料5」に基づき、県内13市の下水道料金比較について説明した。

【質疑・意見等】

委員：下水道事業供用開始区域の図面がありますが、囲んでいるところから外れているところで色分けになっているところ、この部分はどういう利用になっているのか、また広範囲な利用にならないのか、その点を教えていただきたい。

事務局：上郷地区になるかと思いますが、八幡原と万世地区の下水を流すために通過幹線が入っており、ここから川を渡って中田の処理場に行きます。この通過幹線沿いのお宅で使いたいということで工事費を負担頂いて許可したところで、今後沿線について下水道を拡大するという考えは持っていないところです。

委員：下水道使用料は、水道料金の何パーセントとかという比率で下水道使用料に反映すると聞いたことがありますが、そうですか。

事務局：水道ご利用の方の場合、水道と同じ水量で下水道使用料を計算し

ています。井戸水ご利用の方の場合、基本的に人数の認定により一人当たり井戸水だけだと6 m³/月、水道と併用だと一人3 m³/月という一定の水量で計算しています。また、個人でメーターを設置されている方は、お使用の水量により計算しております。

委員：八幡原企業と一般市民の水道料金に違いがあるのではないのでしょうか。

事務局：本市の水道料金につきましては、口径毎に料金が決められており、八幡原企業と一般市民の方の違いはありません。なお、八幡原工業団地には本市の上水道と県が管理する工業用水の水道が供用されています。工業用水に関しては米沢市が料金設定しているものではなく、県が設定しているものになります。

また、下水道使用料につきましては、八幡原工業団地は別に定められており、一般のお客様よりも安い料金設定となっております。八幡原工業団地を造成する際、地域振興整備公団が下水道管敷設をしていることからその費用が掛からないということで安く設定されているということが理由です。

委員：昨シーズンは雪が多く、現状ではダムの満水日が多いと思いますがどうですか。

事務局：平成30年に渇水がありましたが、現在のところダムの貯水率に関しても心配ない状況です。今後の雨の状況によっては変わる可能性もありますが、平成30年は5月以降の雨が極端に少なかったものから、そういった心配はありますが今のところは全く心配ない状況です。

委員：コロナ禍の状況下で令和2年度決算は、使用料等に関しても例年と違う値が出るかとも思っていますが、傾向としてはどうですか。

事務局：令和2年度の水道料金は、基本料金免除がありましたので減収となりますが、使用水量については前年度とほぼ同量くらいで、従量料金部分はあまり減収していないような状況です。ただ今決算を調製しているところです。

委員：先ほどの説明では舘山浄水場が後々廃止になり、笹野浄水場から拡大して受水するという話でした。笹野は綱木川ダムからの取水となっていると思いますが、平成30年の干ばつ時のような状態になると心配があり、ある程度水源を分散化したほうが安心ということがあります。ただ、維持するという費用対効果を考えると仕方がなく、そこも踏まえての検討のこととは思いますが、水量的なことだけでも聞かせていただ

ければと思います。

事務局：水量的な部分を申し上げますと、平成 30 年の渇水時、米沢市だけを考えれば心配したところですが、笹野浄水場は 2 市 2 町（米沢市、南陽市、川西町、高島町）それぞれに給水をしており、南陽市や川西町は余裕があるような契約をしており、こちらのほうを融通し合うと当時でもそれほど影響は無かったという結果となっています。今後の舘山浄水場廃止後につきましても、県との契約水量を少し増やすようなことで検討をしているところです。

委員：窪田町藤泉に井戸があるが、現在は笹野浄水場の水を利用しているということで休止している状況です。渇水等における非常時の運用ということからすれば、これを非常時には稼働させるということも考えていますか。

事務局：上下水道だより第 4 号の下欄に「非常用の地下水源を整備する」という記載をしております。平成 30 年当時に使用できる地下水源としては、広幡町成島に 1 箇所あり、これを利用したところですが、藤泉の方は使用できない状況でしたが、試験をしたところ十分使用できる水源でしたので、これから費用をかけて整備していきたいと考えています。

(8) その他

第 2 回懇談会について

6 月頃、施設見学会を開催する予定。予定が決まり次第、改めて案内する。

《終了 11 : 35》

以上